

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	京都市	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。				
提案プロジェクト名	世界を魅了する「国際観光都市・京都」プロジェクト(仮称)	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。				
都道府県名	京都府	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。				
対象地域	市町村名 京都市	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。				
① 関連する分野	環境 (低炭素) 超高齢化 () その他 (観光資源創出)	※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。				
② 将来ビジョン(環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標(2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿))		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p>京都は、山紫水明の美しい自然と千二百年を超える悠久の歴史、寺院・神社や茶道、華道、能、狂言をはじめとする文化が暮らしの中に息づく日本文化の原点であるとともに、「京都議定書」の発祥の地として、環境分野において国際的なブランド力を有しており、観光立国の拠点は京都においてほかにはない。また、環境先進都市であり、国際観光都市でもある京都は、環境と観光が融合した歴史都市として国の内外にアピールできる優位性を有している。文化の体感と環境保全という、名所旧跡の観光にとどまらない観光都市の新たな姿を国内外に発信することで経済価値を生み出すとともに、低炭素社会の実現に貢献する観光という環境価値を創造する。</p>						
③ 将来ビジョン(②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方)		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p>歴史都市であり「環境モデル都市」である京都の魅力を活用して、海外に発信するとともに、主としてラグジュアリー層をターゲットとした訪日外国人や国際会議を呼び込むこと等により年間約5000万人が訪れる国際観光都市である本市の魅力を高め、「観光立国・日本」の実現を牽引する。</p>						
④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要な具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)						
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	観光立国 日本を推進するための受入環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○「観光立国・日本 推進基金」の創設 ○多言語対応コールセンターの開設 ○国立京都国際会館の再整備 ○メディカルツーリズムに適したビザ創設 ○京都御所や桂離宮等の参観拡大・弾力化 ○多言語観光案内表示のアップグレード 		観光関連団体、事業者、行政	環境価値、低炭素 経済的価値、観光資源創出	○
(2)	環境に配慮した観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○カーボンオフセット観光の推進 ○イベント等のエコ化の推進 ・イベント等のカーボンオフセット、ごみ減量 		観光関連団体、事業者、行政	環境価値、低炭素 経済的価値、観光資源創出	
(3)	近代化遺産等の維持管理・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○観光に貢献する都市インフラの長寿命化 ・京都の観光を支える道路橋などについて、周囲の景観と調和した補修を行うことにより、観光資源の価値を増大させるとともに、架け替えよりもコストの低い補修を推進することでコスト縮減と低炭素化のモデルとする。 		行政	環境価値、低炭素 経済的価値、観光資源創出	○
(4)	国際連携・国際交流・国際的発信力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能性を目指す自治体協議会(ICLEI)、気候変動に関する世界市長・首長協議会(WMCCO)との連携による課題解決事例の発信 ○世界歴史都市連盟会員都市(89都市・56箇国)、姉妹都市(9都市・9箇国)、パートナーシティ(2都市・2箇国)に対する環境先進都市・京都の取組事例の発信 ○KYOTO地球環境の殿堂、京都環境文化学術フォーラムの開催による地球環境保全の重要性の国内外への発信 		行政	環境価値、低炭素 社会的価値、国際連携	
⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
ICTを活用した新たな観光情報提供						